

# 今回の基本指針の変更（案）のポイント

## 参考資料 1

前回（7月29日）

### ○ 令和2/3年の主食用米等の需給実績（速報値）

（基本指針の図1「令和2/3年の需要実績」に基づき作成）

（単位：万トン）

令和2年6月末民間在庫量	A	200	
令和2年産主食用米等生産量	B	723	
令和2/3年主食用米等供給量計	C=A+B	922	→ 889【33】
令和2/3年主食用米等需要量	D	704	
令和3年6月末民間在庫量	E=C-D	219	→ 186【33】

33万トンの調整保管を行う場合の見通し

在庫量の確定に伴う変更 ①

### ○ 令和3/4年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和3年6月末民間在庫量	E	219	→ 186【33】
令和3年産主食用米等生産量	F	693	
令和3/4年主食用米等供給量計	G=E+F	912	
令和3/4年主食用米等需要量	H	703	
令和4年6月末民間在庫量	I=G-H	210	

令和3年10月25日現在の予想収穫量に基づく変更 ②

人口推計値の更新による変更並びに米の販売動向に基づく補正 ③

注1：令和3年産主食用米等生産量は、6月末時点の作付意向調査の結果（6.2～6.5万ha減）を基に試算すると、平年作の場合694～696万トンとなる見込み。

注2：令和3/4年主食用米等需要量は、過去のデータを用いてトレンドで算出した令和3/4年の1人当たり消費量（推計値）に、令和3年の人口（推計値）を乗じて算出した値であり、新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、変動する可能性がある。

今回（11月19日）

### ○ 令和2/3年の主食用米等の需給実績（確定値）

（基本指針の図1「令和2/3年の需要実績」に基づき作成）

（単位：万トン）

令和2年6月末民間在庫量	A	200	
令和2年産主食用米等生産量	B	723	
令和2/3年主食用米等供給量計	C=A+B	922	→ 885【37】
令和2/3年主食用米等需要量	D	704	
令和3年6月末民間在庫量	E=C-D	218	→ 181【37】

令和2年産米について37万トンの調整保管（うち15万トンは特別枠）に取り組む場合の見通し

### ○ 令和3/4年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和3年6月末民間在庫量	E	218	→ 181【37】
令和3年産主食用米等生産量	F	701	
令和3/4年主食用米等供給量計	G=E+F	919	→ 904<<15>>
令和3/4年主食用米等需要量	H	702～706	
令和4年6月末民間在庫量	I=G-H	213～217	→ 198～202<<15>>

注1：欄外の「令和2年産米について37万トンの調整保管（うち15万トンは特別枠）に取り組む場合の見通し」については、令和3/4年において、令和2年産米の37万トンのうち22万トンが供給され、15万トンについてコロナ影響緩和と特別対策（特別枠）に取り組む場合の見通し。

注2：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和と特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

### ○ 令和4/5年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和4年6月末民間在庫量	I	213～217	→ 198～202<<15>>
令和4年産主食用米等生産量	J	675	
令和4/5年主食用米等供給量計	K=I+J	888～892	→ 873～877<<15>>
令和4/5年主食用米等需要量	L	692	
令和5年6月末民間在庫量	M=K-L	196～200	→ 181～185<<15>>

注1：欄外の「令和2年産米について37万トンの調整保管（うち15万トンは特別枠）に取り組む場合の見通し」については、令和2年産米の15万トンについてコロナ影響緩和と特別対策（特別枠）に取り組む場合の見通し。

注2：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和と特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

# 変更の考え方①

## ① 令和3年6月末民間在庫量 【219万トン → 218万トン】

- 「令和3年6月末民間在庫量」のうち、生産段階の在庫量について、10月20日に「生産者の米穀在庫等調査」の「6月30日現在における在庫量」の確定値が公表されたことから、これを基に推計(30.1万トン→29.9万トン)。
- また、出荷段階及び販売段階の在庫量について、速報値から確定値に更新(188.7万トン→188.5万トン)。
- これらにより、「令和3年6月末民間在庫量」を求めると「**218万トン**」。

(参考)6月末民間在庫の推移

(単位:万トン)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年 (確定値)
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200	<b>218</b>

## ② 令和3年産主食用米等生産量 【693万トン → 701万トン】

- 令和3年10月25日現在の予想収穫量に基づき変更。

## ③ 令和3/4年主食用米等需要量 【703万トン → 702~706万トン】

### 【1人当たり消費量のトレンド及び人口推計による主食用米等需要量の見通し】

- 主食用米等需要量の見通しは、平成30年11月基本指針以降に採用している手法(1人当たり消費量に人口を乗じる手法)により推計。
- 令和3/4年主食用米等需要量については、「人口推計(総務省)」の令和3年10月1日現在の概算値を基に推計。⇒「**702万トン**」…(ア)

令和3年7月基本指針

	3/4年
1人当たり消費量(推計値) ①	56.1kg
	3年
人口(推計値) ②	125,218千人
	3/4年
需要見通し ①×②	702.6万トン

令和3年11月基本指針

	3/4年	4/5年
1人当たり消費量(推計値) ①	56.1kg	55.5kg
	3年	4年
人口(推計値) ②	125,120千人	124,593千人
	3/4年	4/5年
需要見通し ①×②	702.1万トン	691.5万トン

「人口推計(総務省)」の令和2年10月1日現在総人口(確定値)に、「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)」の令和2年10月1日から令和3年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算定

「人口推計(総務省)」の令和3年10月1日現在総人口(概算値)

「人口推計(総務省)」の令和3年10月1日現在総人口(概算値)に、「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)」の令和3年10月1日から令和4年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算定

# 変更の考え方②

## 【米の販売動向調査による需要量増加の見込み】

- 令和3年7月～10月の米の販売動向調査結果によると、この期間の販売量は前年の同期間に比べ0.65%増加。
- 令和2/3年の市場流通見込み(565万トン)における販売量が0.65%増加すると仮定すると**需要量は約4万トン増加**する見込み。…(イ)

【概念図】

生産量:723万トン

市場流通量  
565万トン

農家消費等  
158万トン

### ○ 米の販売動向調査結果

(単位:千トン)

	令和2年 7月～10月 ①	令和3年 7月～10月 ②	増減率 ②/①-1
販売量	1,332	1,341	+0.65%

- 米の販売動向調査対象者：  
年間取扱数量4,000トン以上の卸売業者238社
- 調査対象者の年間取扱数量：  
令和2/3年；402万トン

### 【参考】

- ※1 令和3年産米の相対取引価格が令和2年産米に比して下落(▲1,378円/60kg)しており、価格変動に伴う需要量の変動を推計すると、約3万トンの増加が見込まれる。
- ※2 コロナ影響緩和特別対策における特別枠15万トンの販売・提供動向により、主食用米等需要量が上振れする可能性がある。

## 【令和3/4年主食用米等需要量の見通し】

- (ア)の702万トンから、(イ)の約4万トンを加えた706万トンと幅をもって、3/4年主食用米等需要量の見通しは「**702～706万トン**」。

## ★ 令和4年6月末民間在庫量 【210万トン → 213～217万トン】

- 上記により、令和4年6月末民間在庫量は「**213～217万トン**」。

【参考】 令和2年産米の37万トンの調整保管(うち15万トンは特別枠)について、令和3/4年において22万トンが供給され、15万トンについてコロナ影響緩和特別対策(特別枠)に取り組む場合の令和4年6月末民間在庫量は「198～202万トン」。

## ④ 令和4/5年主食用米等需要量 【692万トン】

- 令和4/5年主食用米等需要量については、「人口推計(総務省)」の令和3年10月1日現在の概算値に、「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)」の総人口の減少率を乗じて算定した人口を基に推計。⇒「**692万トン**」。

## ⑤ 令和4年産主食用米等生産量 【675万トン】

### ★ 令和5年6月末民間在庫量 【196～200万トン】

- 令和3年6月末の民間在庫量が218万トンとなり、前年6月末の200万トンから増加する中、令和5年6月末の民間在庫量の水準を200万トン以下とし、需給の安定に資するよう改善を図るものとして設定すると、令和4年産主食用米等生産量は「**675万トン**」。

### ○ 6月末民間在庫実績と見通し (単位:万トン)

	3年(実績)	4年(見通し)	5年(見通し)
民間在庫	218	213～217 (198～202)	196～200 (181～185)

※ ( )は令和2年産米の15万トンについてコロナ影響緩和特別対策(特別枠)に取り組む場合のもの。